

報告書名	平成 21(2009)年度 高温ガス炉プラントに関する研究報告書
発行年月	平成 22(2010)年 3 月
概要	高温ガス炉の実用化検討に資する目的で、以下を実施した。 (1) 技術課題の検討: ①次世代原子力プラント(NGNP)関連の公開文献に基づく「高温ガス炉プラントの安全上重要な課題に関する調査検討」、②「高温ガス炉からの核熱等供給を想定した産業界の熱等需要調査」について、ワーキンググループを設置し、実施した。 (2) 有識者による講演・意見交換: 高温ガス炉の位置付けや活用に関し幅広い視点を持つ有識者 3 名による講演と意見交換を行ない、高温ガス炉の実用化や国際展開に関する有益な意見を聴取した。 (3) 開発動向調査: ①国際会議(「第 4 回 OECD/NEA 原子力水素製造情報交換会議」(OECD/NEA 主催))での情報収集、参加者との情報交換、②公開情報に基づき、高温ガス炉に関する主要国の最新の開発動向調査を実施した。
目次	はじめに 関係者名簿 I. 今年度の活動実績の概要 II. 有識者による講演 1. 「スマートグリッド時代の原子力」 2. 「低炭素社会と原子力」 3. 「最近の原子力議論と高温ガス炉の接点を考える」 III. 調査・研究・評価活動 1. 高温ガス炉の安全上重要な課題に関する調査 2. 核熱利用調査 IV. 高温ガス炉研究・開発動向調査 1. 「第 4 回 OECD/NEA 原子力水素製造情報交換会議」参加報告 2. 高温ガス炉に関する主要国の最新動向調査